

学習企画

～この夏大飯は必要なかった～

7月1日、政府と関西電力は大飯原発の再稼働を強行しました。記者会見で野田首相は「(電力不足から)国民の生活を守るため」と判断の理由を述べました。

関西電力は、再稼働しなければ停電させるぞとばかりに「計画停電のお知らせ」を各家庭に郵送し、脅迫しました。

しかし、この夏大飯原発の再稼働は本当に必要だったのでしょうか？

大飯原発3号機4号機		202万kw	※関西電力でんき予報[供給力に関するお知らせ] 2012年7月22日より
停止火力発電	赤穂1号機	▲60万kw	
	赤穂2号機	▲60万kw	
	相生1号機	▲38万kw	
	相生2号機	▲38万kw	
	海南2号機	▲45万kw	
	海南3号機	▲60万kw	
	御坊1号機	▲60万kw	
	御坊2号機	▲60万kw	
	御坊3号機	▲60万kw	
合計		▲519万kw	

さらに、この夏の関西電力管内の電力需要は昨年の▲11%。

関西広域連合は再稼働を「容認」しました。井戸知事は関西広域連合長です。井戸知事の責任は重大です。

日時：9月5日(水)

18:30～

場所：三宮勤労会館308号

上映：DVD原発に奪われたいのちと暮らし

講演：①「この夏の関電の出力需給」

速水二郎氏(電力兵庫の会)

②「井戸知事の原発への姿勢」

日本共産党兵庫県会議員団

報告：関電前金曜日行動

ゼロこねっと

挨拶：石川康宏氏

(憲法が輝く兵庫県政をつくる会代表幹事)

主催：原発をなくし自然エネルギーを推進する兵庫の会 078-335-3770(兵庫労連内)

協賛：憲法が輝く兵庫県政をつくる会